

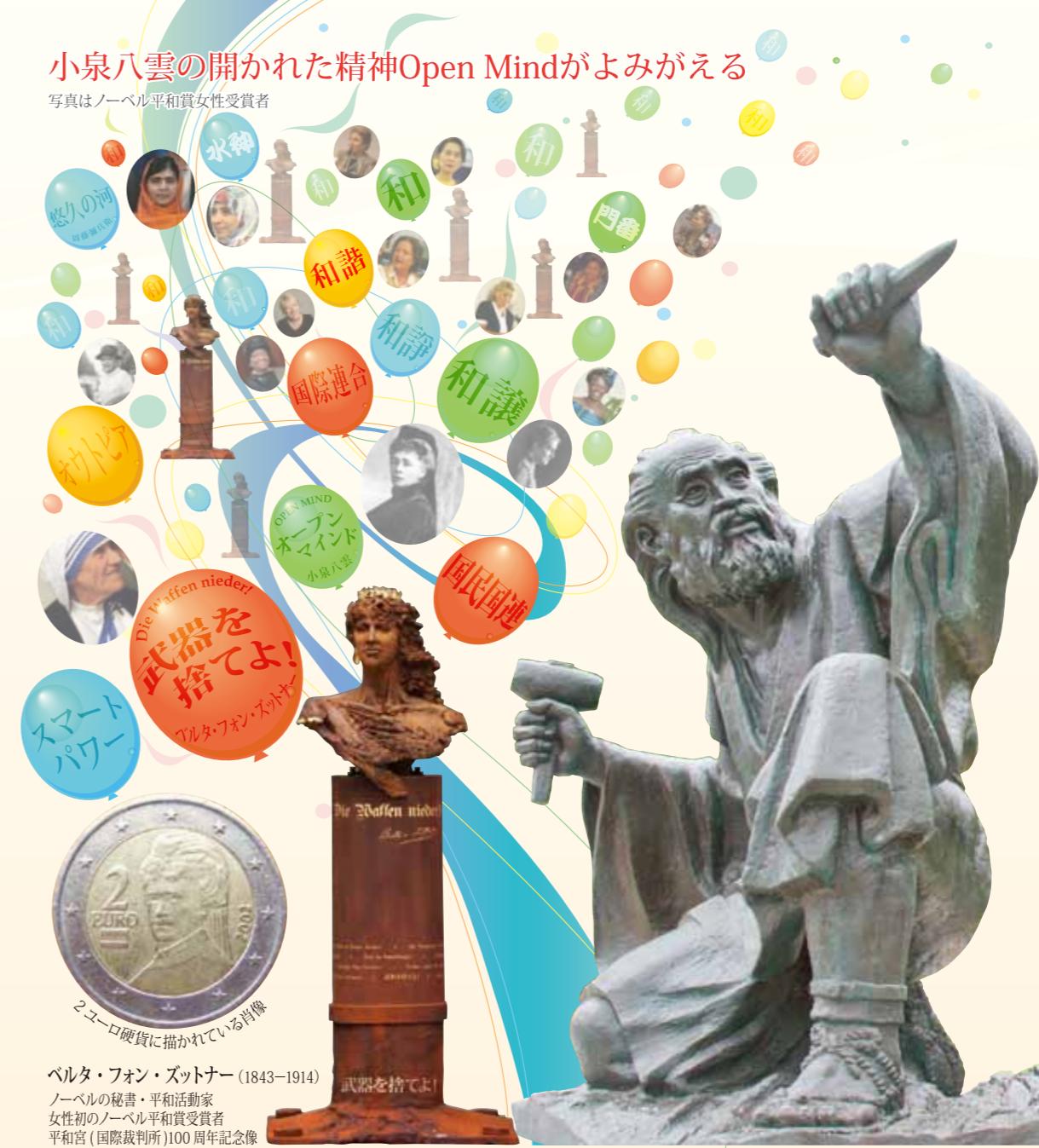
# 出雲から陽が昇る

女性が羽ばたく地方創生のモデルをめざして

周藤彌兵衛(1650-1752)  
水害から村を救った治水の偉人  
56歳にして一念発起、97歳で  
命いを遂げ102歳で大往生

## 小泉八雲の開かれた精神Open Mindがよみがえる

写真はノーベル平和賞女性受賞者



## 講師・パネラー



イングリッド・ロレマ  
オランダ生まれ。  
芸術家。  
ハーグ平和100周年記念事業でカーネギー財團の依頼でスツトナー像を作成。



浜田和幸  
鳥取県生まれ。  
参議院議員。総務大臣政務官・外務大臣政務官を歴任。米ジョージ・ワシントン大学政治学博士。著書多数。



堀内好浩  
東京都生まれ。  
(財)国民経済研究協会情報社会研究センター長。島根県立大学名誉教授。「国境を超えた情熱をもって頑張る日本人」に選ばれた。



行徳哲男  
福岡県生まれ。  
1969年渡米、BE訓練プログラム開発。1971年日本BE研究所設立。聴く人の魂を揺さぶる講演活動も全国各地で精力的に続けている。



白駒妃登美  
埼玉県生まれ。  
大手航空会社勤務後福岡を拠点に結婚コンサルタントとして活動する一方「博多の歴女」として歴史講座を展開。



村尾靖子  
山口県生まれ。  
江津市在住 作家。  
著書  
「悠久の河一周藤彌兵衛翁物語」「クラウディアの祈り」他。



イップ常子  
広島市生まれ。  
ワイン在住。オーストリア公認国家ガイド資格取得。オーストリア、近隣国で日本人観光客の案内・通訳に従事。



渡部通恵  
松江市在住。  
アフガン寺子屋プロジェクト代表。  
1972年都内小学校勤務。  
教員を経て、母親主婦の傍ら教育・国際交流・貢献活動を続けている。



金美正  
韓国釜山生まれ。  
京畿道在住。  
慶熙大学学院MBA取得  
KOMATSU KOREA理事  
人間自然科学研究所韓国マネージャー

## タイムスケジュール

### 第1部 松江から世界平和を一国民国連構想の具現化—

8:40-9:40	モーニングセミナー	テーマ：21世紀を鳥瞰する世界アジア日本島根 民間から始まる平和会議	コーディネーター：堀江研次 パネラー：渡部通恵、鄭求憲、魏、呉大新
10:00-	開会		
10:05-10:25	主催挨拶	小松 昭夫	
10:25-11:00	基調講演1	平和な世界を築く視点：眞実は非常識にあり	浜田 和幸
11:00-11:05	ベルタ・フォン・ズットナー像除幕お披露目		
11:05-12:00	基調講演2	あなたが奇跡を信じないなら	イングリッド・ロレマ

### 第2部 オープンマインド—開かれた精神—と地方創生

13:05-13:15	セレモニー	日本舞踊：荒城の月／寿獅子 花柳萌淡	佐藤 京子 他
13:15-13:45	基調講演3	私の人生とヨーロッパ、周藤彌兵衛翁との出会い	イップ常子
13:45-13:55	エッセイ朗読	焦げついた夏、祈り	村尾 靖子
13:55-14:20	基調講演4	歴史が教えてくれる日本人の生き方	白駒 妃登美
14:20-14:50	基調講演5	出雲から陽が昇る：陰と陽について	行徳 哲男
14:50-15:20	基調講演6	人口減少社会と地方創生 女性の社会参加	堀内 好浩

## パネルディスカッション

15:30-17:00	未来へ 三大核大国の結節点、朝鮮半島と日本—世界平和の希望の郷・八雲立つ出雲	コーディネーター：浜田和幸 パネラー：行徳哲男、堀内好浩、イップ常子、白駒妃登美、渡部通恵、小松昭夫
-------------	--	---

**小松電機産業株式会社**

協賛 (株)山陰ファミリー保険エージェンシー (財)人間自然科学研究所

後援 めたか論語普及会 中国庭園「燕趙園」(財)Rubyアソシエーション

島根県松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内

TEL 050-3161-2490 / FAX 050-3161-3846 松江・東京・大阪・東北・ソウル

<http://www.komatsuelec.co.jp>

天略(原理)—政略(原則)—戦略(現実)—戦術(現場)—戦闘(現物)

2013年9月 オランダ デン・ハーグ

ズットナー1号像

2014年6月 オーストリア ウィーン

ズットナー2号像

2014年11月 日本 松江市

ズットナー3号像

## 主催挨拶



小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所 代表 小松 昭夫

1945年7月29日ポツダム宣言黙殺報道を受け8月6日広島・9日長崎に原爆投下、戦時資料焼却命令を出し、15日昭和天皇の終戦放送がされました。そして9月2日、100年前にペリー提督が掲げた星条旗を掲げ、東京湾に入港した米戦艦ミズーリ号上で日本は降伏文書に調印、8000万人(民間人5500万人、軍人2500万人)という史上最大の犠牲を出した第二次世界大戦(中国では15年戦争)が終わり、日本は米国を中心とする連合国に占領されました。その後、1950年始まった朝鮮戦争中の1951年サンフランシスコ講和条約に調印、独立。日本を含む旧枢軸国を対象にした敵国条項の入った国連憲章(1945年10月発効)を受け入れ、1956年国連に加盟、現在に至っています。その後、東西冷戦下の高度経済成長という繁栄もありましたが、日本は人類史的激動期と、問題が複雑に絡み合った衰退期と、近隣諸国との歴史問題が重なり、難しい状況になっています。

また、島根県は1966年、県庁所在地松江市の10キロ圏内に原子力発電所を誘致、日本最大を含む3基共、運転できない状態が続いている。社会の構造的疲弊が、「財政ひっ迫」「中海干拓事業中止と大橋川開削」「竹島の日制定」「公共施設の陳腐化、利用者の減少」等を生み、文化・政治・経済の活力が低下、急激な人口減少を招き、閉そく感が漂っています。

一方、ギリシアで小泉八雲の「開かれた精神OpenMind」がよみがえり、出雲大社の遷宮・慶事、錦織圭選手の活躍、錦織良成監督とEXILETRIBE HIROが創る映画「たら侍」への期待も高まり、松江・出雲に注目が集まっています。

日本と朝鮮半島は、核大国の米国・中国・露国の地政学的結節点にあります。安倍内閣の掲げている「積極的平和主義」「地方創生」「女性の活躍」の議論から新しい時代が生まれる可能性がでてきました。これには中小企業の自律的再生と、国民の気づきが必要不可欠です。

当社が市場創造したシートシャッターも大手の参入が進み、全国・世界に広がり市場が急拡大しています。また、松江発のRubyで開発したクラウド総合水管システム「やくも水神」も、「次世代の社会インフラ」として野村総合研究所が2010年、東京国際フォーラムで2700人を前に発表、採用自治体が国交省の成功モデルになり、本格的な普及期を迎えていました。

やくも水神の原点「水の偉人・周藤彌兵衛翁」の大銅像を日中戦争の激戦地山東省で制作、8月1日「水の日」に松江市八雲町に地元の協力を得て建立しました。そしてカーネギー財団、オランダの芸術家ロレマさんの協力を得て、小説「武器を捨てよ」「空の蛮行」で100年前に世界大戦を強く警告した、女性初のノーベル平和賞受賞者ベルタ・フォン・ズットナー像建立活動を始めました。ヨーロッパでの支援者であるイップ常子さんは、東京、広島、神戸、京都名古屋で公演されたオーストリア政府企画によるズットナーの演劇「情熱に燃える魂」に参加されました。

このシンポジウムをきっかけに、「国際平和センター・国民国連」構想(2009年北京、2014年ウィーンで発表)が、長崎大学核兵器廃絶研究センターの「北東アジア非核兵器地帯構想」マララ・ユスファザイさんのノーベル平和賞受賞などを追い風に、出雲から世界に広がることを祈っています。

皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしています。

## 周藤彌兵衛翁銅像

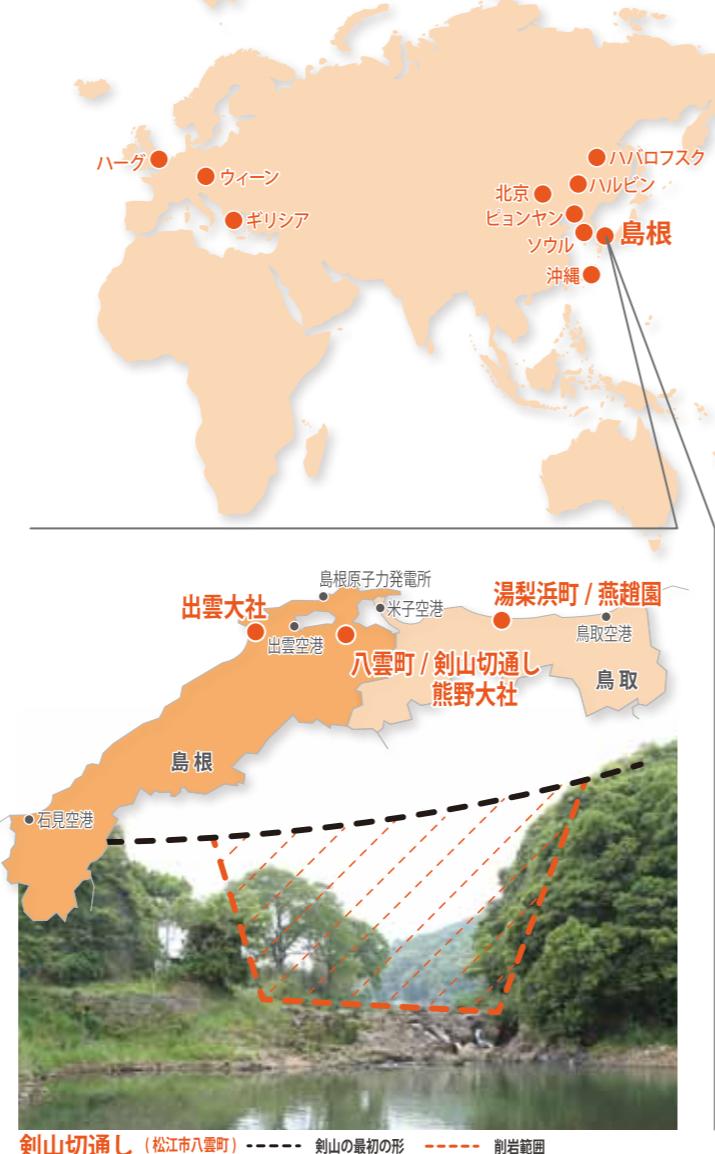


2014年8月1日 松江市八雲町親水公園 周藤彌兵衛翁銅像除幕式

1994年、人間自然科学研究所を設立、「一村一志」運動を始め、郷土の水の偉人の小説・児童文学・漫画の出版、シンポジウム開催、テーマ曲制作、合唱コンクールなどが行われてきました。

また、2002年日中正常化30周年記念事業として、日中戦争の激戦地中国山東省で孔子、孟子、周藤、清原の4体の銅像を作りました。山東省棗莊市台兒莊は、第2次世界大戦中、米国から兵器を提供された国民党と共産党の国共合作で、陸軍第63連隊(島根・鳥取・広島・岡山)が大打撃を受けた地です。

この地で再び、周藤翁の大銅像を作成、本年6月に完成し、日本の水循環基本法成立後初の「水の日」8月1日に、島根県松江市八雲町に建立しました。銅像設置に合わせ、伝統工芸の陶器、漆器(八雲塗)、織物等と新素材を組み合わせ、発達障がい児と共同制作、新産業創造にも取り組んでいます。八雲町「めだか論語普及会」から始まった論語の素読会は、現在、島根・鳥取で20か所を超えていました。



## 「国際平和センター」構想

琉球王国と呼ばれた沖縄は、ナポレオンの逸話にも残っている、武器の替わりに三味線を持つ「平和の島」でした。

400年前の薩摩藩侵攻、明治政府による琉球処分、また太平洋戦争末期沖縄戦で20万人の犠牲を出し、「被害の島」に。その後、朝鮮半島、ベトナム、イラク、アフガンへの米軍前線基地として「加害・被害の島」に変わってきました。

この島に世界の賛同を経て、人類の未来を拓く「国際平和センター」を創設し、「人類進化発祥の島」とする構想です。

「国際平和センター」は、次の3つの主要施設により構成されます。

### (1) 世界戦争平和映像センター

世界の戦争・平和博物館を情報技術通信(ICT)で結び、写真・映像・音響・芸術で総合的に学ぶことができ、世界の戦争・平和博物館の入り口の役割を果たす、人類進化センター。

### (2) メモリアルタワー

世界の近代戦争すべての戦没者数、名前、写真、経歴を電子データを遠隔から永遠に記録、閲覧できるメモリアルタワーを建設。

### (3) 和の殿堂

共感の場を作り、対立、統合、発展が循環する「和の文化」を生み出す「殿堂」を最先端の科学技術とICTを生かし建設。平和会議、平和貢献者への顕彰、「知のオリンピック」などを開催。

韓国

① 1997年 獨立記念館  
② 2005年 安重根義士記念館  
③ 2005年 西大门刑務所歴史館

中国

④ 2001年 抗日戦争記念館  
⑤ 2014年 抗日戦争記念館  
⑥ 2005年 南京大虐殺記念館

2009年ロシア

⑦ ハバロフスク 第2次世界大戦慰靈碑  
⑧ ハバロフスク 平和慰靈公苑  
⑨ ウラジオストク 戦争体験者との意見交換会

2005年アメリカ・ハワイ

⑩⑪ アリゾナ記念館

⑫ ミズーリ号艦上

## 「国民国連」構想

人間自然科学研究所は、2008年12月中日韓英4か国対訳の『中国古典名言録』の出版に合わせ、北京で「国民国連」の試案を発表しました。

現在の国連は193カ国の「政府代表」で構成され、常任理事国を含む大国主導で運営されています。「国民国連」は、人類の特性を深く考察、歴史的経緯と現実を直視、論理的討議を通じて、よりよく生きられるストーリーを生み出す「国民代表」で構成される集団です。

中国の「和諧」、出雲で生まれた「和譲」、韓国の「和諍」、オウトピア、米国の「スマートパワー」、朝鮮の「主体思想」などを考察、教養・芸術・イノベーションをユーモアで組み合わせ、「和の文化」が生まれる「場」が「国民国連」です。

